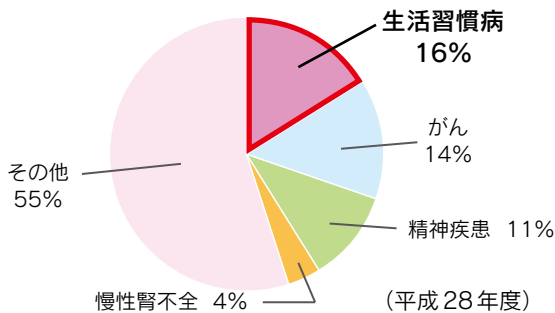


第2期太宰府市国民健康保険保健事業実施計画 (第2期太宰府市国民健康保険データヘルス計画) を策定しました

問い合わせ 国保年金課 国保年金係(☎内線312)

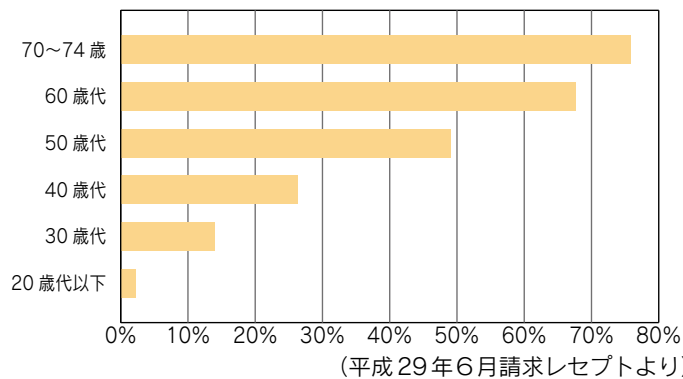
データから見る本市の国民健康保険

図1 総医療費に占める生活習慣病の割合



国民健康保険の医療費のうち、最も大きな割合を占めているのが生活習慣病です。生活習慣病とは、日々の生活習慣が原因となって発症する病気の総称で、糖尿病や脂質異常症、脳血管疾患、高血圧、心疾患などが含まれます。

図2 年齢別生活習慣病受診の割合



年齢別に生活習慣病で受診した人の割合を抽出してみると、年齢を重ねるごとに生活習慣病の人の割合が増えていることがわかります。

近年、高齢化や医療の高度化により国民の医療費が増大しています。市では、生活習慣病の重症化予防や健康寿命の延伸を目的として平成27年度に「太宰府市国民健康保険保健事業実施計画(太宰府市国民健康保険データヘルス計画)」を策定し、特定健診やレセプト(診療報酬明細書)などのデータを活用しながら国民健康保険被保険者への保健事業を実施しています。

平成29年度で現行計画の期間が満了することに伴い、平成30年3月に「第2期太宰府市国民健康保険保健事業実施計画(第2期太宰府市国民健康保険データヘルス計画)」(以下「第2期データヘルス計画」)を策定しました。なお、本計画から特定健診・特定保健指導の実施計画である「第3期特定健康診査等実施計画」も一体化しました。

**健康寿命を延ばす
取り組みが大切です**

生活習慣病は、日本人の死亡原因の5割以上を占めている一方で、初期段階に自覚症状がないことが多く、知らないうちに病気が進行してしまいうことがあります。日々の生活習慣を見なおし、定期的に健診を受けて自分の健康状態を正しく把握することが重要です。

また、健康を維持して医療費を抑制することは、将来的な国民健康保険税の値上げや治療費の自己負担を抑えることにもつながります。

第2期データヘルス計画では、このようなデータをさまざまな角度から分析して、今後取り組むべき対策などを示しています。第2期データヘルス計画は市ホームページでご覧になれます。

HP 太宰府市ホームページ(総合トップ)↓くらし・行政サイト↓市政情報↓市の計画・施政方針計画↓第2期太宰府市国民健康保険保健事業実施計画(第2期太宰府市国民健康保険データヘルス計画)